



地域連携だより

発行：JA新潟厚生連 小千谷総合病院 患者サポートセンター
〒947-8701 小千谷市大字平沢新田111番地
TEL. 0258-81-1616(直通) FAX. 0258-81-1602(直通)



介護医療院の開設について

事務長 長谷川 拓史

日頃より先生方には病院へのご協力とご理解をいただき御礼申し上げます。

小千谷総合病院は開院より8年目を迎えることができました。これも地域の皆様方の多大なご支援、ご協力の賜物と心から感謝申し上げます。

さて、新潟県が策定した「地域包括ケアシステムを支えるための医療機関の機能分化と方向性」(グランドデザインPart2)では、「地域で高度な医療を支える柱となる病院」と「地域包括ケアシステムを支える医療機関」の役割を示し、医療圏域毎に体制整備が進められているところです。小千谷総合病院では「地域包括ケアシステムを支える医療機関」を担うこととなります。当院ではサブアキュート機能(軽・中等症患者の救急受入機能)やポストアキュート機能(長期急性期患者や回復期患者の受入、治療機能)を主な役割とします。また、今後増加が見込まれる多疾患高齢者への適切な医療ケアの提供やスムーズな在宅、介護等との連携を強化してまいります。

これらの体制を整備するため、令和6年4月より、医療病床を300床から199床に削減し、新たに介護医療院80床を開設いたしました。地域包括ケアシステムを支える医療機関(地域密着型)として、必要な機能を整備するため、急性期・回復期機能の医療病床に加え介護医療院を開設し、各機能が連携するケアミックス型の病床運営を実施してまいります。

介護医療院の紹介については、パンフレットを掲載しておりますので、ご覧下さい。これまでにない新しいタイプの介護施設です。

小千谷総合病院は医療・保健から介護福祉までをトータルでサポートする病院として、これからも、地域の皆様より信頼される病院づくりに尽力いたします。引き続き、皆様との連携を深め、小千谷地域の医療の充実に努めて参りますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

● 介護医療院とは、要介護者の長期療養と生活支援を目的とした施設です。

他の施設では受け入れが難しい、喀痰（かくたん）吸引や経管栄養など医療ニーズの高い要介護者の受け入れが可能です。また、人生の最終段階におけるケア（看取り）も行って、重度の要介護者でも十分な医療ケアを受けながら安心した生活を送ることができる施設です。さらには、病院併設の施設のため、体調を崩してもすぐに病院のケアを受けることができます。



● 介護医療院の特徴

医療機関に近い職員配置



医師や看護師が常駐

他の介護施設では難しい医療的ケアにも対応



喀痰吸引、経管栄養、点滴など

長期療養が可能



看取りやターミナルケアも実施

● 介護医療院で受けられる主なサービス

医療的ケア

喀痰（かくたん）吸引や経管栄養、点滴などの医療的ケアが必要な利用者を受け入れるほか、人生の最終段階におけるケア（看取り）の対応が可能です。



介護サービス

介護医療院では、ほかの介護施設と同様に、入浴の介助、排泄の介助、食事の介助など日常生活上の世話をを行います。また、介護医療院で生活するうえで、今できる動作を維持できるようにリハビリを行います。さらに、地域社会とのつながりを持つために、地域住民やボランティアとの交流も積極的にを行います。

生活支援サービス

介護医療院は、入居者にとって医療や介護だけでなく、生活の場を提供する施設です。入居者が安心して暮らせる「住まい」となるよう、プライバシーの確保などに努めています。



● 介護医療院の入所基準

- 65歳以上
(40~64歳の方でも初老期における認知症や関節リウマチなど特定疾病による要介護認定を受けた人)
- 要介護1~5の認定を受けている ■ 日常的に医療的ケアが必要 ■ 一般的な介護施設では対応が困難

4月より当院の5階に介護医療院が開設となりました。

介護医療院は、主に経管栄養や喀痰吸引などの医療処置が必要なために高齢者施設等での対応が難しい方などに療養いただく介護施設です。

医師や看護師、介護職員、介護支援専門員、リハビリ職員、管理栄養士等の専門職が配置されており、日常的な医学管理、看取りやターミナルケア等の医療機能と併せて生活施設としての機能とを兼ね備えているところに特徴があります。

● 施設概要 ■ 介護医療院 (5階) 25室80床

- 個室 (6室)
- 3床室 (2室)
- 4床室 (17室)



小千谷総合病院の主な機能

入院
199床

- 6F 急性期一般病棟 (50床)、障害者施設等病棟 (51床)
- 5F 介護医療院 (80床)
- 4F 地域包括ケア病棟 (98床)
- 12F 外来

併設施設

○小千谷健診センター ○小千谷訪問看護ステーション「ひまわり」



・まだ開設して間もないこともあり、現在は病院に入院されている患者様から順次、入所のご案内や調整をさせていただいております。今後については自宅や他施設で療養中の方にもご案内できるよう、体制を整えていきたいと考えております。

介護医療院についての詳細等につきましては、小千谷総合病院患者サポートセンターの医療ソーシャルワーカーまでお問い合わせ願います。

お知らせ

この度、耳鼻咽喉科の診療体制変更に伴い、嚥下内視鏡検査のご依頼を頂戴しました際には、耳鼻咽喉科医師に確認を行った上でご案内をさせていただきますので、すぐ（当日中）にご案内ができない場合がございますのでご了承ください。ご迷惑をおかけしますがよろしくお願いいたします。

患者サポートセンター

当院の患者サポートセンターは、医師（1名）、看護師（6名）、医療ソーシャルワーカー（4名）、事務員（1名）の合計12名の部署です。地域連携・患者総合相談・入院支援・病床管理の機能を担っております。関わりとしては、入院前の段階から入院中、退院後の生活まで院内外の関係機関・職種からの依頼・相談や連携を図り、安心して地域で生活できるよう取り組んでいます。



前列左より：チーフマネージャー 安部(新任)、部長 家里、
マネージャー 島村、入院支援Ns 瀧澤
中列左より：退院支援Ns 喜多村、病診事務 平沢、
退院支援Ns 猪又、入院支援Ns 中村、
入院支援Ns 宮
後列左より：MSW 大久保、MSW 中島、MSW 早見

ご挨拶

地域連携支援部チーフマネージャー（MSW） 安部 充美

日頃より、小千谷総合病院ならびに地域連携支援部患者サポートセンターにご支援、ご協力を賜り感謝申し上げます。この度地域連携支援部チーフマネージャーを拝命しました安部充美と申します。昨年一年小千谷総合病院を離れ、柏崎総合医療センターで医療ソーシャルワーカーとして仕事をしておりました。小千谷を離れ感じた経験を活かし、新たな気持ちで貢献できたらと考えております。今年度は介護医療院が4月よりオープンいたしました。患者様や関係機関の皆様方のお声を聴きながら、今まで以上に地域のニーズにお応えできるよう、部署一丸となって尽力して参りたいと思います。どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。

編集後記

地域連携支援部長 家里 裕

4月に入りようやく春らしい天候となってきました。

小千谷総合病院も開院して8年を迎えることとなります。

当院は地域の中核病院として、急性期から回復期の患者受け入れなどを担っていますが、4月からは介護医療院を開設し、医療ケアが必要な長期入院患者に対応したいと考えています。詳しくは本文を参考にして下さい。

これを機に地域連携支援部として今まで以上に地域の医療・福祉・介護の連携を密にしたいと考えています。

スタッフも新しくなりました。今後ともよろしくお願いいたします。